

令和7年度 保護者アンケート・学校関係者園評価 結果報告

日頃より本園の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。

さて、先日、実施させていただきました幼稚園教育に関するアンケートにつきまして、ご協力をいただき、ありがとうございました。今回のアンケートから見えた課題をしっかりと受け止め、また、肯定的に評価いただいている部分に関して更なる充実を目指し、今後の教育活動に活かしてまいります。引き続きご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<回答者数>

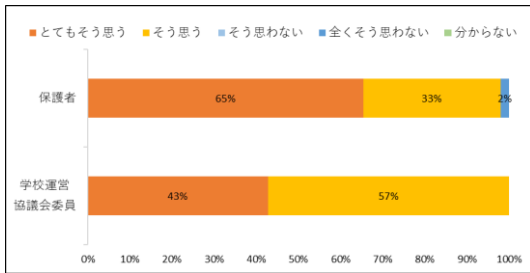
保護者 52名/59名 (88%)
学校運営協議委員 7名/13名 (54%)

A…とてもそう思う B…そう思う C…そう思わない D…全くそう思わない ?…分からない

項目	考察																		
<p>2 特色ある教育活動「わあ！すごい！出会い」 これらの教育活動を通して、本物に触れる機会や多様な文化に触れる機会を大切に、豊かな感性や表現力が育てられている。</p> <table border="1"> <caption>「わあ！すごい！出会い」アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>とてもそう思う</th> <th>そう思う</th> <th>そう思わない</th> <th>全くそう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>75%</td> <td>23%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>学校運営協議委員</td> <td>57%</td> <td>43%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない	保護者	75%	23%	2%	0%	0%	学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%	<p>パラリンピアンとの交流を通して車椅子利用への理解が深まったことや、ハワイアンミュージック鑑賞後にマイク真木さんの真似をして遊ぶ姿から表現力の育ちが感じられることなど、多様な講師や文化にふれられる特色ある教育活動が評価されました。一方で、「劇団風の子」の保護者鑑賞がなかったことが残念だったというご意見もありました。今年度は会場の都合によりご参観いただけないものがありましたが、令和8年度も可能な限り参観の機会を設けていく方針です。</p>
回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない														
保護者	75%	23%	2%	0%	0%														
学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%														
<p>3 特色ある教育活動「へえ！そうなんだ！共感」 これらの教育活動は、保護者や地域の力を活用したり、共に経験したりすることで、社会に開かれた教育活動が展開されている。</p> <table border="1"> <caption>「へえ！そうなんだ！共感」アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>とてもそう思う</th> <th>そう思う</th> <th>そう思わない</th> <th>全くそう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>73%</td> <td>21%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>学校運営協議委員</td> <td>57%</td> <td>43%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない	保護者	73%	21%	2%	2%	2%	学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%	<p>保護者や地域の方が教育活動に関わる機会が多く、子どもたちが多くの人に温かく見守られていると感じられるというご意見を複数いただきました。また、幼稚園前にある日本森林技術協会との新たな連携についても、令和7年度からの取組として好意的なご意見をいただきました。これらの声を受け、地域に開かれた幼稚園として、今後も地域とのつながりを大切にしながら教育を行います。</p>
回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない														
保護者	73%	21%	2%	2%	2%														
学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%														
<p>4 特色ある教育活動「えっ！？面白い！創造」 この教育活動を通して、子どもたちは、多様な体験の中で、十分に考えたり、試したり、創り出したりする楽しさを味わっている。</p> <table border="1"> <caption>「えっ！？面白い！創造」アンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>とてもそう思う</th> <th>そう思う</th> <th>そう思わない</th> <th>全くそう思わない</th> <th>分からない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>65%</td> <td>31%</td> <td>2%</td> <td>2%</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>学校運営協議委員</td> <td>57%</td> <td>43%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない	保護者	65%	31%	2%	2%	0%	学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%	<p>「番町ラボで様々な発見を楽しんでいる」「パーカッションを見た後、家でいろいろな物を叩いて遊んでいた」などのご意見をいただきました。また、「子どもたちの想像を形にするよい環境を与えてくれている」「家でも創作遊びを楽しんでいる」と、家庭や園での好きな遊びに広がっている様子についても複数のご意見が寄せられました。特色ある活動がその場で終わらず、日々の遊び（学び）へつながるよう、次年度も環境づくりを進めていきます。</p>
回答者	とてもそう思う	そう思う	そう思わない	全くそう思わない	分からない														
保護者	65%	31%	2%	2%	0%														
学校運営協議委員	57%	43%	0%	0%	0%														

5 保護者と共に子どもを育てる『共育』を進める

園は分かりやすく子どもたちの様子をお伝えし、情報を共有することで、保護者の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。

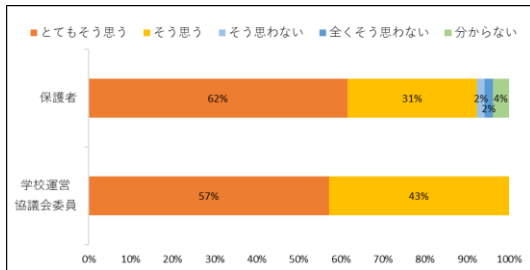


「毎日、降園時に活動内容を説明してくれることや、写真の共有があることがありがたい」「個人面談以外でも日々の様子を伝えてくれるので助かる」など、教職員との日常的なコミュニケーションや園からの発信に対して現状を評価する複数のご意見をいただきました。

今後も、写真掲示やホームページの活用等、保護者の皆様への情報発信を、更に充実させていきます。

6 地域と共に子どもを育てる『共育』を進める

園は、地域の行事に積極的に参加し、地域の人材や教育資源を活用しながら、地域の皆様と一緒に子どもたちを育もうとしている。



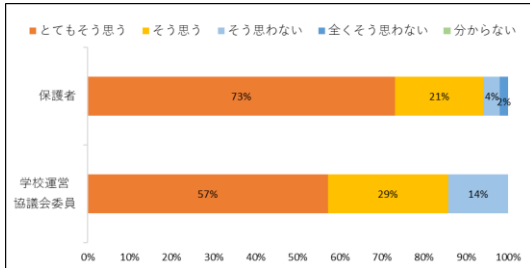
「番町子ども会、もちつきなど、地域の皆様と一緒に楽しめるイベントがあるのはよい」「外部との交流が積極的に行われ、子どもたちにとってよい刺激になっている」といったご意見をいただきました。次年度は山王祭でも地域の方と関わる機会が予定されており、より一層地域の皆様と連携を深め、『共育』を進めていけるよう取り組んでまいります。

7 教育目標「考える子」

3歳児：お子様は、園生活を楽しむ中で、好きな遊びを見付けて、自分で考え取り組んでいる。

4歳児：遊びの中で工夫したり、試したりすることを楽しんでいる。

5歳児：行事や遊びの中で、自分の考えをもち、目的に向かって力を発揮しようとしている。



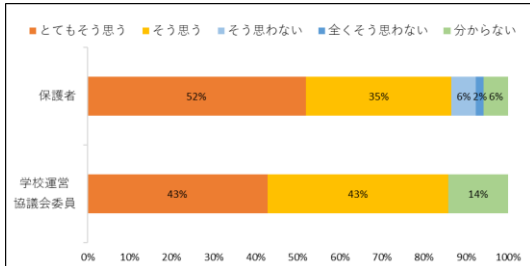
「子どもが積極的に製作に取り組むようになり、作りたいものをどう形にするか考えたり試したりしている」「スポーツデーや子ども劇場を通して、友達と協力する楽しさや達成感を味わっている」などのご意見をいただきました。また、特色ある教育活動等で経験したことを日々の遊びや生活に取り入れたり、繰り返したりすることで、子どもたちの「考える力」が培われていくと考えています。引き続き、主体的に生活や遊びを楽しむ経験をとおして、「考える力」を育てていきます。

8 教育目標「思いやる子」

3歳児：先生や友達と遊ぶことを楽しむ中で、自分が大切にされていることを感じている。

4歳児：友達との考えや気持ちの違いに気づきながらも、遊びを楽しみ、自分の思いを相手に伝えている。

5歳児：自分の思いを伝えるとともに、相手の気持ちを理解し、相手を大切にしようとする気持ちをもって、友達との遊びを楽しんでいる。

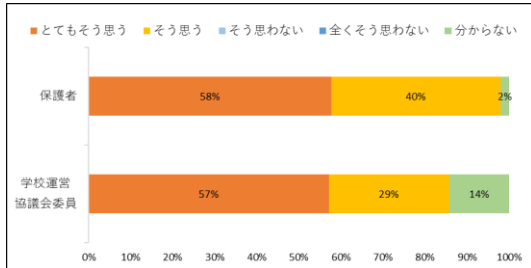


「自分の思いを言葉で伝えることはまだ難しい場面もあるが、日々の生活の中で成長を感じる」「縦割り活動で上級生に優しくされ、思いやりが育っているように感じる」などのご意見をいただきました。

「相手の気持ちを考えていない言葉遣いが気になる」というご意見もあり、園でも言葉遣いについて課題や必要感を強く感じており、繰り返し指導を行っております。今後も一人一人に合わせた指導を教職員で連携を図りながら続けてまいります。

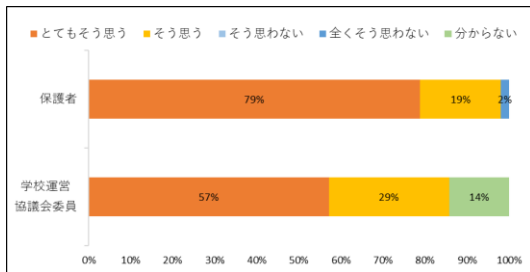
9 教育目標「やりぬく子」

3歳児:遊びや生活の中で、「自分のことは自分でする」ことが分かり、自ら遊ぼうとしている。
 4歳児:自分でやりたい遊びを見付け、遊びを実現するために、諦めずに取り組もうとしている。
 5歳児:少し難しく感じられることに対しても、挑戦しようとする気持ちを持ち、自ら取り組もうとしている。



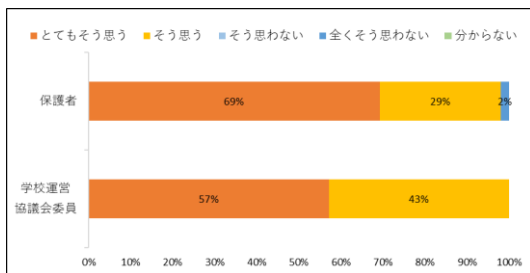
「朝の支度や片付けが家でもできるようになった」「最後までやり遂げようとする姿が増えた」「スポーツデーや子ども劇場のセリフの練習を一生懸命する姿が見られた」などのご意見をいただきました。今後も、年齢や発達に伴い、失敗への抵抗や自信の揺らぎも見られる時期であることを踏まえ、子どもたちの実態を細かく捉え、一人一人の子どもに適した指導や、失敗を受け止め挑戦を支える保育を実践できるようにしてまいります。

10 園は、一人一人の子どもの思いや行動を受け止めようと努め、子どもたちが安心して自己を発揮できるよう、温かく指導・援助している。



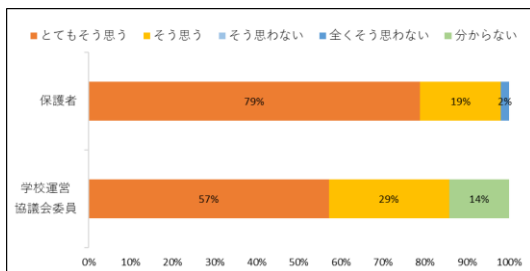
「子どもたちが伸び伸びと感情を出しているように思う」「優しく温かく、細かいところまで見て関わって適切なかわりをしてきている」「一人一人の個性を受け止めてくれるからこそ団体競技があのように盛り上がった」「できたことや失敗を共有してもらえた」など、温かいご意見をいただきました。今後も子どもたちが安心して自分らしさを発揮できるよう、関係機関や専門家とも連携を図りながら、より一層幼児理解に努めてまいります。

11 園は、子どもたちが主体的に遊びに取り組み、知的好奇心を育んだり、探究する楽しさを感じたりできるよう、自然の不思議さや出会える環境、製作等の表現が楽しめる環境、イメージをもってごっこ遊びが楽しめる環境などを用意している。また、その環境が安全で子どもたちが安心できる場所であるよう努めている。



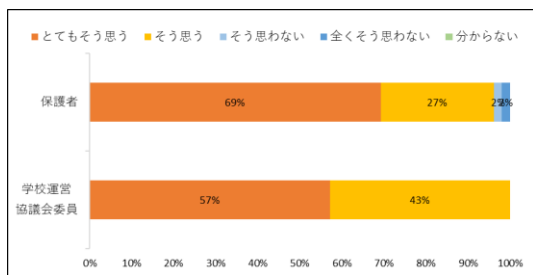
「自由に作りたいものを作成できる環境が整っている」「様々な遊びを知り、家でも再現している」「必要なものを必要なタイミングで出してくれるので、子どもがやってみたくなる環境になっている」などのご意見をいただきました。また、安全面について、より安心できる体制を望むご意見も寄せられました。今後も、子どもたちの経験や意欲を支え、安全で安心できる環境となるよう努めてまいります。

12 園は、子どもたちが季節を感じ、豊かな自然環境に出会い、不思議に感じ、親しみの気持ちをもちながら世話をしたり、疑問に思ったことを考えたいくなるような環境を用意している。また、栽培物を調理し、みんなで食すを通して、収穫の喜びを感じられるような指導をしている。



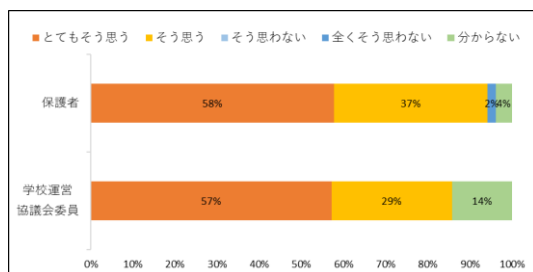
「都心にありながら自然を感じられる環境が貴重」「にんじんを切った話を嬉しそうにし、家庭でも手伝いをしてくれるなどの成長がみられる」など食育の意義を感じておられるご意見をいただきました。また、「栽培を通して不思議をもち、話し合いながら調べる経験が今後につながる」「とうもろこしが収穫できなかったときの学びのつなげ方がよいと思った」などの声もありました。今後も教育委員会や専門家の方と相談しながら自然物との関わり等を充実してまいります。

13 園は、多様な体の動きを経験し、主体的に体を動かして遊ぶことを楽しんだり、バランスの取れた心身の発達を促したりするように指導している。



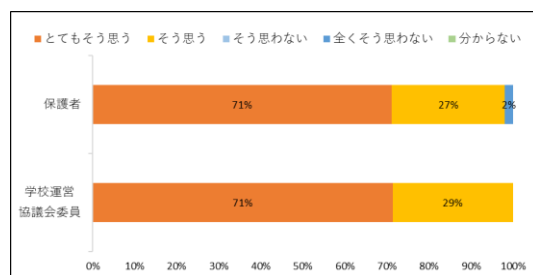
「朝のスポーツタイムでみんなで体を動かすのがよい」「運動が得意ではなかったが、園で体験した動きを家でも楽しそうに見せてくれる」「動けるようになるだけでなく、動くことそのものを楽しんでいる」「コーディネーショントレーニングが好き」など、運動遊びに関するご意見をいただきました。本園では基本的に朝と昼の1日2回、校庭や講堂、ピロティ等を活用して運動遊びを実施しています。今後も小学校と併設である環境を生かし、多様な動きや体を動かす楽しさを味わえる機会を大切にしていきます。

14 園は、子どもが互いの違いに気付いたり、諸外国の文化や多様な価値観にふれられたりするような環境設定や援助をし、子どもが受け入れ合い、認め合う態度や人権感覚が身に付くように指導している。



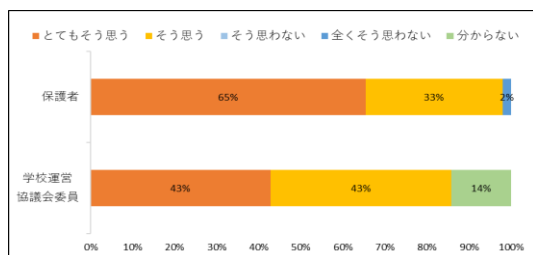
「幼稚園から海外の方と交流できるのは大切で、今後も機会を増やしてほしい」「知らないうちに英語で数を数えていて驚いた」「ALTの先生が大好き」といった、異文化交流に関するご意見をいただきました。多様な価値観に関しては、車いすマラソンの花岡先生との交流をきっかけに、街で車いすの方を見た際に身近に受け止める姿が見られたとの声もありました。令和8年度は、ALTとの活動を参観していただく機会を計画しています。

15 園は、小学校の(校庭や講堂等)を有効的に活用したり、小学生との交流を計画的に実施し、小学校への円滑な接続のための連携を図ったりしている。



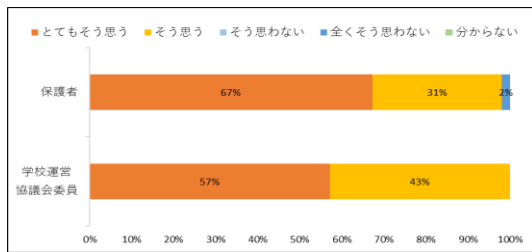
「小学校との交流は幼稚園児・小学生の双方により影響がある」「交流した小学生に外で会ったときに声をかけてもらえて嬉しい」などのご意見をいただきました。また、「就学に向けた体験の機会をもっと設けてほしい」という声もありました。5歳児は、2月に発田先生による体験授業と、今年度から園長(校長)による授業体験を実施します。その他、近隣保育園の年長児とともに1年生の教室訪問も計画しています。今後も小学校と連携し、子どもたちが就学への期待を高められるよう取り組んでいきます。

16 園は、毎月の避難訓練や、麴町警察等と連携した安全指導を実施し、子どもたちが安全のために必要な習慣や行動を身に付け、自分の身を自分で守る力を育てる教育をしている。



「地震があると小さな揺れでも素早くダンゴムシ(カエル)の姿勢になっている」「自宅で避難訓練の様子を話してくれ、自分を守る力が育っていると感じる」といった、避難行動の定着を実感する声をいただきました。また、登降園時に保護者が横断歩道でないところを走って渡る、立ち話をして子どもが道路に飛び出す、自転車に子どもを乗せて道路を逆走するといった危険な場面を目撃するとのご意見もありました。園での子どもたちへの指導とともに、いま一度、災害時や毎日の登降園での安全な行動を親子でご確認いただきますようお願いいたします。

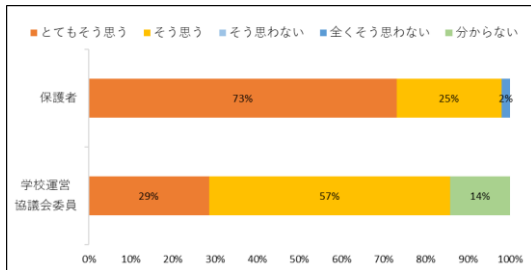
17 園は、幼稚園だよりや学年だより、保護者会、掲示板、ホームページを活用して活動の様子の掲示等、教育方針や子どもたちの様子を分かりやすく伝えている。



「すぐるのタイムラインに園だよりを載せてくれるので外出先でも確認できて助かる」「すぐるを活用してくれていて分かりやすい」などのご意見をいただきました。

また、行事や降園時間などの基本的な連絡は幼稚園だよりに記載し、追加・変更事項や重要なお知らせはすぐるで配信しています。日々の学級での活動や様子に関しましては、すぐる配信をすると情報が多すぎるなど、煩雑になるため、今後も降園連絡の掲示板をご確認ください。

18 園は、「にこにこ図書」や「愛児会主催の講演会」「愛児会会報誌の発刊」等、愛児会の活動に協力し、子どもにとっても保護者にとっても、園生活が充実したものとなるよう、連携を図っている。



「園と愛児会の皆様とよく連携されています」等のご意見をいただきました。園での教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今後も愛児会と連携を図りながら、保護者の方と手を携えて、園の教育活動を充実させてまいります。

- ・時間が延長されて大変助かっています。
- ・そら組で作った三つ編みや毛糸、ミニチュアなど、最初は難しいと感じるものでも、先生方やうめ組さんから教えてもらいできるようになった喜びを共有し、嬉しく思います。
- ・すぐーるで申請内容が確認しやすくなり助かっています。
- ・緊急の時も対応してくださり、大変助かった時が何度もありました。ありがとうございます。
- ・普段遊ばない友達とも遊ぶよい機会になっています。

<朝の登園と、お迎えの時間について>

- ・朝の預かり保育は、30分刻みでなく、自由な時間に登園できると嬉しい。
- 今年度の朝の預かりは、7:30登園、8:00登園、8:30登園の3つの時間を設定しておりました。今年度の状況から朝は利用人数が少なく、柔軟に受け入れができることが多いことが分かりました。ただし、職員配置の時間を事前に決める必要があることから、完全な自由時間での登園は難しい状況です。そこで令和8年度より、「7:30～7:59」「8:00～8:29」「8:30～8:44」と、開始時間に幅をもたせた設定に変更し、より利用しやすい形で受け入れを行います。
- ・帰宅時間を自由にしてほしい。

→子どもが帰る際には、保護者の方への引き渡しや連絡のため必ず職員が一人ついて対応しています。その間、他の子どもを見る職員が少なくなり、帰宅の対応が不定期や立て続けになると安全面に影響が出てしまいます。また、お迎え時間が明確だと、「あと1時間あるから砂場に出られる」「おやつ後、新しい遊びをできる」「あと20分でお迎えの時間だから遊んでいたものを片付けよう」など、見通しをもって活動場所や遊びの展開をしたり、降園できるように気持ちを整えたりすることができます。

ただし、ふんわりタイム（16:50以降のお迎え）に関しては、利用する人数が少なくなり柔軟な対応と安全面での保証がしやすくなります。また、幼児の健康な生活リズムのために、17:00以降はなるべく早めのお迎えが望ましいと考えます。こうした理由から必要な場合はお迎え時刻を柔軟に対応いたします。お迎えの時間が早まる際などには、ご連絡・ご相談ください。

<申し込みについて>

- ・そら組の申請をした時間見返せるようにしてほしい。また、一目で分かるカレンダー機能などがあると便利です。
- すぐーるで申し込まれた日は、アンケート機能から申し込み後も確認することができます。また、カレンダー機能などについてのご要望は、アプリの運営会社にそのような意見があったことを伝えます。

【幼稚園運営連絡委員の方からのご意見】

- ・素晴らしいことだと思います。預かり保育の拡充＝働く保護者支援だと思うので、愛児会の活動負担軽減や保護者参加型の行事の在り方の見直しなど並行して進める必要があり、難しいと思います。
- ・預かり保育の拡充に伴い、園の運営やオペレーションが複雑化し、先生方のご負担も増していることと存じますが、共働きや介護、多子世帯の送迎、通院など、様々な事情を抱える家庭でも番町幼稚園の優れた教育を受けられるようになったことは、非常に大きな意義があると感じております。一方で、降園時間が分散したことで、保護者同士が顔を合わせて交流する機会が以前より少なくなっております。お互いの顔が見えにくい状況が、子ども同士の些細なトラブルを保護者間の大きな誤解に繋げてしまわないかといった懸念もあり、保護者間の繋がりをいかに維持していくかが今後の課題であると考えております。また、預かり保育利用時は、怪我やトラブル等の重要事項については確実にご報告いただき感謝しておりますが、担任の先生からその日の何気ない様子を伺う機会が限られてしまう点についても、今後、よりよい共有のあり方を模索していければ幸いです。

- ・保護者にとっては便利なことは言うまでもなく、子どもにとってもお弁当では体験できないお料理や食材がいただけてありがたく存じます。
 - ・特に給食はなくてもよいと思っていました。でも弁当給食が始まると、子どもが「今日はこんなものを食べた」とか「こんな栄養があるんだよ」と教えてくれるようになりました。しっかり食育をしてくださっていると感謝しています。
 - ・時々でよいので、映像で見せていただけるとありがたいです。
→弁当給食自体は、弁当給食の業者「わくわく広場」のホームページでご覧になることができます。そして、令和8年度も、弁当給食参観・弁当給食試食会を計画しています。合わせて、降園時や学級懇談などを活用し写真などで発信していく予定です。ご心配やご不明な点は、幼稚園までご連絡なくお声がけください。
 - ・子どもの食べる量が多いため、おかわりをさせてもらっている。成長して今後足りなくなったらおにぎりなどを持たせるなどなにかできることはありますでしょうか。
→現在は予備分と欠席者分をおかわり用として提供しています。主食のおかわりは、余ることが多い状況です。おかわりについての要望があったことは、千代田区にも伝えてあります。今後進級後などに量が必要だと感じられた場合は、個別にご相談ください。
 - ・幼稚園でどのくらい食べたか気になります。
→どのくらい食べたのか、降園時担任までお声掛けいただければお答えいたしますので、ご相談ください。
 - ・お弁当給食に野菜が少ない印象で、豚汁パーティーの他にも園の栽培物をみそ汁などにして提供することはできないでしょうか。
→栽培物の調理に関しては、例年同様の頻度で令和7年度に続き令和8年度も計画しています。園で育てている野菜は、プランターでの少量栽培であるため、収穫量には限りがあります。また、その年の気候によっては、思うように育たない場合もあります。そのような状況を踏まえつつ、子どもたちが育てた野菜を味わう機会を大切にしながら、無理のない範囲で提供してまいります。子どもたちと「何にして食べようか」と相談しながら決める楽しさも大切にしたいため、収穫した野菜の食育はみそ汁でない場合もあります。お弁当給食の野菜量に関するご意見は、千代田区にもお伝えしております。
 - ・食育的視点からもとても素晴らしい取り組みとを感じる子どもも食べられるものが増えました。その中でも、やはり自校式の給食を目指してほしいです。
→現在の施設上提供は難しいですが、千代田区にもこのようなご要望があったことをお伝えします。
- <幼稚園運営委員の皆様からのご意見>
- ・一度給食弁当になったものを昔のように戻すことは二度とできないと思います。遠足などの手作りのお弁当を食べる機会を大切にさせていただきたいです。私が今の保護者だったら、普段作らないので面倒だなと思ってしまいそうです。食べ終わったお弁当に入れるカード(園児さんが書く)など作ったら保護者も嬉しいし、数少ない手作りお弁当の機会親子の交流も一つ生まれそうです。三年間集めたりして楽しそうかなと思います。
 - ・「同じ献立を皆で囲む」という経験は非常に貴重であり、お友達がおいしそうに食べる姿を見て苦手の食材に挑戦しようとする自発的な姿勢は、好き嫌いの克服にも繋がっていると感じます。全員で同じものを食べることで、献立にまつわる食育指導も可能になり、教育的にも素晴らしい取組です。

- ・多方面にわたり充実した学びの先生方の熱意と工夫と環境が素晴らしいと感じました。
- ・ここまで愛情をもって先生方に育てていただき、非常に感謝しております。少子化などの変化はあると思いますが、時代の流れに合わせて改革を行いつつ、温かい雰囲気と伝統を守る番町幼稚園であってほしいと思っています。

- ・アヒルの飼育はもう難しいでしょうか。お世話の大変さも分かっておりますが、子どもにとって大きな存在だったと少し寂しく感じております。

→長年大切にしてきたアヒルが亡くなってから一年以上が経ち、次のアヒルを迎えることについても園で慎重に検討を続けています。近年の厳しい暑さの中で現在の環境のまま屋外飼育を続けることが難しいという獣医の見立てがあること、また動物にとって十分な環境ではないのではという地域からの声もあること、近年、園児数も減少傾向にあり土日祝日や閉庁日のお世話のボランティア担い手が確保しにくく、職員が休日に対応する日も多かったことなど、課題も多い状況です。一方で、アヒルは子どもたちにとって大きな存在であり、命に触れる貴重な経験を与えてくれるものと捉えています。今後も、子どもたちが命の大切さを感じられるよう、飼育以外の方法も含めて保育の工夫を続けてまいります。

- ・学級閉鎖は、仕方がないことかもしれませんが、お見直しを検討いただきますと助かります。

→幼稚園は学校教育法上の「学校」にあたるため学校保健安全法や文部科学省のガイドラインに基づき、欠席状況や感染状況を踏まえながら、幼稚園・園医・教育委員会で協議し実施を判断しています。

学級閉鎖は、子どもたちの健康を守り、園全体への感染拡大を防ぐための重要な措置です。保護者の皆様にはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【幼稚園運営連絡委員の方からのご意見】

- ・アヒルの飼育が再開されたらいいと思いました。色々な意見があると思いますが、アヒルがないより、いる方が得るものがあるのは間違いないと思います。
- ・番町幼稚園の伸びやかな教育は素晴らしいものですが、集団生活における「待つこと」や「我慢すること」へのご指導も、より重視していただきたいと感じております。(中略)園での日々の生活の中で、どこまで踏み込んで指導されるかの匙加減は先生方にお任せいたしますが、番町の子どもたちが、社会生活を営む上で不可欠な力を身につけられるよう、粘り強いご指導を期待しております。

この他、温かいご意見をたくさんいただきました。教職員の励みとするとともに、より一層質の高い教育を展開し、安心して園にお子様を預けていただけるよう、皆様からのご意見ご感想を基に園の運営が充実するよう努めてまいります。